

令和6年度 訪問看護認定看護師教育課程受講試験

筆記試験「専門科目」問題

実施日 : 令和5年 11月 20日 (月)

実施時間 : 9:30～ 11:10 (100分)

<注意事項>

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
2. この問題冊子の本文は、15 ページ 5 題です。
3. 解答用紙は 1 枚です。解答はすべて解答用紙の指定された解答欄に記入してください。
4. 印刷不鮮明な箇所および脱落などがあれば、ただちに申し出てください。
5. 問題用紙、解答用紙に受験番号を記入してください。
6. 問題用紙は試験終了後に回収しますので、持ち帰らないでください。

問題Ⅰ. 次の【問1】～【問25】に対する適切な答えを1つ選び、解答用紙の所定の欄に番号を記入しなさい。

【問1】高齢者の生理的機能の変化として、誤っているのはどれか。

- a. 聴覚では高音域の音が聞き取りにくい。
- b. 肺機能では残気量が増加する。
- c. 尿の濃縮能が高まる。
- d. 心臓の収縮力が低下する。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問2】呼吸器のフィジカルアセスメントについて、誤っているのはどれか。

- a. 呼吸音は、膜型の聴診器で聴取する。
- b. 肺の下葉は、背部から聴診する。
- c. 気管支肺音は、正常の場合、吸気と呼気の長さはほぼ同じである。
- d. 細かい断続性副雑音は、太い気管支が痰などで狭窄した場合に聴取される。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問3】心不全を示す所見について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 毛細血管再充満時間（Capillary Refilling Time : CRT）5秒
- b. 膿性痰の喀出
- c. 足背動脈の触知
- d. 脈圧の減少

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問4】小児の成長・発達について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 発達の方向性は身体の末端から中心部へ進む。
- b. 運動機能の発達は全身的な動きから細かな動きへ進む。
- c. 脳神経系は乳幼児期に急速に発達する。
- d. 身体各部の発達の臨界期は一定である。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 5】弛緩性便秘について、誤っている組み合わせはどれか。

- a. 原因のひとつに自律神経のアンバランスがある。
- b. 結腸が狭くなっていて便の通過が妨げられている状態である。
- c. 適度な運動は改善策のひとつである。
- d. 高齢者に多い。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 6】脱水について、正しいのはどれか。

- a. 高張性脱水とは、ナトリウムが喪失した脱水のことである。
- b. 嘔吐を繰り返すことで高張性脱水になる。
- c. 尿崩症では高張性脱水をきたしやすい。
- d. 糖尿病性昏睡では低張性脱水がみられる。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 7】フレイルについて、誤っているのはどれか。

- a. 原因は、「身体」・「心理・精神的」・「社会性」の3つに分けられる。
- b. 加齢に伴う予備能力の低下から、心身のストレスに対する回復力が低下した状態である。
- c. 身体的フレイルは、体重減少、歩行速度の低下、握力の低下、歯牙の欠損、疲れやすさなどで評価する。
- d. 早期発見と適切な介入により改善が期待できる。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 8】摂食嚥下の5期モデルについて、正しい組み合わせはどれか。

- a. 認知症では、先行期に障害があることがある。
- b. 口腔期は、食べ物を口腔内に取り込み、咀嚼して食塊が形成される段階である。
- c. 嚥下したものが鼻から出てくる場合、咽頭期に障害がある可能性がある。
- d. 食道期では、食道の蠕動運動である一次収縮と二次収縮とが連動して移送運動がおこる。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 9】 感染予防対策について、正しいのはどれか。

- a. 療養者に結核の感染を疑う場合は、飛沫感染予防策が必要である。
- b. 角化型疥癬感染者の着用した衣服は、熱処理（50℃、10分）を行い洗濯する。
- c. ノロウイルス感染者の吐物処理後の床は、ペーパーで拭き取りアルコールで拭く。
- d. 療養者にインフルエンザの感染を疑う場合は、空気感染予防策が必要である。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 10】 皮下点滴について、誤っているのはどれか。

- a. 留置針の挿入部位は、腹部、胸部、背部が適切である。
- b. 点滴静脈注射に比べ出血や感染などの合併症が少ない。
- c. 500~1,000ml の輸液を 24 時間かけて投与することが多い。
- d. 強度の浮腫がある場合も適用となる。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 11】 在宅人工呼吸療法の看護について、誤っているのはどれか。

- a. 高圧アラームの原因の一つとして、気道内の痰の貯留がある。
- b. 低換気アラームの原因の一つとして、回路の接続不良による空気漏れがある。
- c. 経皮酸素飽和度の低下時に最優先するのは、手動式換気による呼吸確保である。
- d. 定時的な気管内吸引で低酸素血症を防ぐことができる。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 12】 ストーマ合併症の晩期合併症について、誤っているのはどれか。

- a. ストーマ傍ヘルニア
- b. 腸脱出
- c. 血流障害
- d. 粘膜過形成

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 13】パーキンソン病について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 姿勢反射障害がある場合は、ヤールの重症度分類Ⅳ以上に相当する。
- b. 主な症状は、動作緩慢（無動）・手足の振戦・筋肉の固縮である。
- c. 振戦は一側性から両側性に進行する。
- d. 自律神経の障害はない。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 14】認知症について、正しいのはどれか。

- a. レビー小体型認知症の特徴として幻視がある。
- b. アルツハイマー型認知症では海馬の腫大がある。
- c. 徘徊は認知症の中核症状のひとつである。
- d. 失認はBPSD（行動・心理症状）のひとつである。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 15】糖尿病について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 遺伝因子が深く関与するのは、2型糖尿病である。
- b. ケトアシドーシスをおこしやすいのは、1型糖尿病である。
- c. 三大合併症のうち最も早期に出現するのは、糖尿病性腎症である。
- d. シックデイではインスリン注射を原則中止する。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 16】慢性心不全の看護について、誤っているのはどれか。

- a. 頸静脈の怒張がある場合は右心不全を疑う。
- b. 食事内容は病期に関係なくナトリウム制限とする。
- c. 入浴時は鎖骨下までの深さで半坐位浴とする。
- d. 軽症時より水分を制限する。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 17】 WHO 方式がん疼痛治療の第一目標として、正しいのはどれか。

- a. 安静時の痛みの消失
- b. 体動時の痛みの消失
- c. 夜間睡眠時の痛みの消失
- d. 日中の痛みの消失

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 18】 アドバンス・ケア・プランニングについて、正しい組み合わせはどれか。

- a. 終末期の患者に限り行われる。
- b. 患者の大切にしていることに基づいて意思決定ができるように家族、医療従事者を含め話し合う。
- c. 今後の治療や療養について、患者が家族や医療従事者に自分の意思、希望を伝えて相談する。
- d. 代理意思決定者についての表明は含まない。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 19】 褥瘡リスクアセスメント・スケールのブレードンスケールについて、誤っているのはどれか。

- a. 6つの観察・評価項目で構成されている。
- b. 合計点が低いほどリスクが高い。
- c. 「摩擦とズレ」の採点では過度な骨突出が判断ポイントになる。
- d. 在宅での褥瘡発生危険点は17点以下を目安にする。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 20】 スキンケアについて、誤っているのはどれか。

- a. 乾燥や紫斑、浮腫がある皮膚に発生しやすい。
- b. 評価には STAR 分類システムを用いる。
- c. 加齢とともに増える傾向にある。
- d. 上肢より下肢に発生しやすい。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 21】重症心身障害児の判定に用いられる大島の分類について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 縦軸を移動機能、横軸を知能機能とし障害レベルを区分する。
- b. 運動機能は、5段階で評価する。
- c. 知能指数 35 以下で移動機能は寝たきりあるいは座れる者が重症心身障害児に相当する。
- d. 重症心身障害児は、A1・2・3・4、B1・2・3・4 に区分される。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 22】精神科疾患療養者に対する訪問看護の基本的姿勢について、誤っているのはどれか。

- a. 訪問予定を事前に連絡し了解を得ておく。
- b. 対象者の考えが混乱しているときは自らが整理できるまで待つ。
- c. 安易に共感の言葉をかけない。
- d. はっきりと具体的に伝え、遠回しの表現をしない。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 23】業務継続計画（BCP）について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 災害など、リスク発生時に業務が中断しないために、また万が一、中断した場合でもできるだけ早期に重要機能を再開させるための仕組みを計画しておくこと。
- b. 災害対応マニュアルと同等の意味を持つため、どちらかを策定していればよい。
- c. BCP の策定後は定期的な見直しや変更の必要はない。
- d. 令和 3 年度介護報酬及び令和 4 年度診療報酬改定において、令和 6 年 4 月から介護施設・事業所における BCP 策定が義務化された。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 24】退院後訪問指導料について、誤っているのはどれか。

- a. 対象として認知症高齢者の日常生活自立度判定基準のランクⅡ以上の患者を含む。
- b. 入院医療機関の看護師が患家・施設を訪問し患者・家族等に対し在宅での療養上の指導を行う。
- c. 退院日から 1 ヶ月以内に 5 回を限度として算定できる。
- d. 訪問看護ステーションの看護師と同行した場合、訪問看護同行加算を算定できる。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 25】訪問看護事業所における医薬品や衛生材料・医療機器等の取り扱いについて、正しい組み合わせはどれか。

- a. グリセリン浣腸液は事業所に保管できる。
- b. 気管カニューレは事業所に保管できない。
- c. 医師の指示に基づき使用する衛生材料の費用は利用者へ請求できない。
- d. 利用者に使用する衛生材料は、訪問看護計画書・報告書に記載し主治医が必要量を支給する。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

問題Ⅱ. 次の事例を読んで、【問 1】～【問 5】に対する適切な答えを 1 つ選び、解答用紙の所定の欄に番号を記入しなさい。

Aさんは78歳の男性で慢性閉塞性肺疾患がある。服薬管理をしながら一人で暮らしていたが、最近、急な発熱と倦怠感がみられ肺炎となり入院した。この入院中に在宅酸素療法（0.5L/分）を導入し、近日に自宅に退院する予定である。入院中は車で 30 分離れた場所に暮らす娘が頻りに面会に来て世話をしていた。入院前に比べて、一つ一つの動作が緩慢になっている。

【問 1】在宅酸素療法について、適切な組み合わせはどれか。

- a. 対象は動脈血酸素分圧 55torr 以下の者に限定される。
- b. 原則として月に 1 回は医師の診療を受ける必要がある。
- c. 酸素の増量により CO₂ナルコーシスを誘発することがある。
- d. 酸素濃縮器は火気から 1m 以上離れた場所に設置する。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 2】病棟看護師による A さんへの退院支援の内容として、適切な組み合わせはどれか。

- a. 娘との同居を勧める。
- b. 退院後の日常生活環境について情報収集を行う。
- c. 在宅酸素療法の管理方法について説明する。
- d. まず、訪問看護ステーションに連絡をとる。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 3】A さんは入院中に要介護認定を受け、退院し、訪問介護と訪問看護を受けることとなった。訪問看護師が訪問に行った際に、A さんから「入院前に比べて体力が落ちたし、食欲もない。」との言葉がきかれた。1 人で外にも出られるが、階段昇降時には息切れがみられる。訪問看護師の対応として、適切な組み合わせはどれか。

- a. 体力が回復するようにできる限り安静にすることを勧める。
- b. 日にちが経てば自然に症状が消失することを伝え、励ます。
- c. 体重を測ることを提案する。
- d. 理学療法士による筋力トレーニングの必要性について提案する。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 4】 自宅での入浴の方法に関する訪問看護師の説明で適切な組み合わせはどれか。

- a. 身体を洗うときにはシャワーチェアを使う。
- b. 酸素を吸入しながら身体を拭く。
- c. 浴槽に入ることは禁止する。
- d. 脱衣は介助してもらうことが原則である。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 5】 A さんの食事摂取量が減っていることを娘が心配をしている。

訪問看護師が行う娘への言葉かけとして、適切な組み合わせはどれか。

- a. 「主治医の先生に点滴を行ってもらえるよう、相談しますね。」
- b. 「間食を加えるなど、食事の回数を増やしましょう。」
- c. 「食事の内容や摂取量について、教えて下さい。」
- d. 「この病気ではよくみられる症状ですので様子をみましょう。」

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

問題Ⅲ. 次の事例を読んで、【問 1】～【問 5】に対する適切な答えを 1 つ選び、解答用紙の所定の欄に番号を記入しなさい。

Bさんは64歳女性で、74歳の夫と二人暮らしである。長男夫婦は遠方に住んでいる。5年前に多系統萎縮症の診断を受け、脊髄と小脳の障害が進行し、現在は移動時に車椅子を使用している。夫の介護を受けながら在宅療養している。

【問 1】 Bさんの症状に関して、適切な組み合わせはどれか。

- a. 小脳に障害があるため、体幹のバランスがとりにくく、両足を揃えて起立するのが難しい。
- b. 小脳に障害があるため、歩幅が狭く、動作が遅い。
- c. 脊髄に障害があるため、手が震えて文字が書きにくい。
- d. 脊髄に障害があるため、立ちくらみや尿失禁が生じやすい。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 2】 誤嚥性肺炎を繰り返したため、入院し胃瘻を造設した。退院後は訪問看護を週 2 回利用している。Bさんへのケアとして、適切な組み合わせはどれか。

- a. 下痢が続いているため、栄養剤の注入速度を速めて注入にかかる時間を短くした。
- b. バルン型のカテーテルを挿入しているため、月に 1 度、固定水の交換を行う。
- c. 下痢が続いているため、浸透圧が低い栄養剤への変更について検討する。
- d. 口腔ケアは、栄養剤の注入前に実施した。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 3】 退院後は 1 日のほとんどをベッドで過ごすようになった。それぞれの状況下における対応として、適切な組み合わせはどれか。

- a. 右腸骨部が赤く、びらんと水泡が発生して痛みがあるため、ハイドロコロイドドレッシング材で創面を密閉して湿潤環境を保った。
- b. 訪問看護時に褥瘡周囲の皮膚が赤く腫れて膿が出ていたので、直ちに主治医に連絡した。
- c. II度の褥瘡部位の痛みが消失したので、水泡にポリウレタンフィルムを貼付した。
- d. 仙骨部の褥瘡予防のため、栄養剤の注入はヘッドアップせず臥床した状態で行うことにした。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 4】訪問看護師の対応として、適切でないのはどれか。

- a. 夫が「介護してあげたいが、少し疲れてきた」と話しかけてきたため、レスパイトサービスについて紹介した。
- b. Bさんと夫から「急変時に気管切開を行うかどうか決められない」と相談を受けたので、長男夫婦に来てもらい、主治医と一緒に早めに話し合おうと提案した。
- c. Bさんと夫が、突然死の危険があることを理解しているかどうか情報収集した。
- d. 入浴は転倒の危険が高いため、ベッド上で訪問看護師が清拭と洗髪を行う。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 5】訪問看護師のアセスメントとして、適切でないのはどれか。

- a. Bさんの睡眠時のいびきが大きくなってきたことから、声帯外転麻痺があり窒息の危険があると考えた。
- b. Bさんの言葉が聞き取りにくくなってきたが、口のマッサージを継続することで治ると考えた。
- c. Bさんの嚥下障害が進行してきたが、口から食べる楽しみが大切と考え、摂食・嚥下障害看護認定看護師との連携を考えた。
- d. 夫から、最近Bさんは表情が乏しく、不安感が強く、夜はほとんど眠れない様子で心配していると聞き、うつ病の併発の危険性を考えた。

1. a 2. b 3. c 4. d

問題Ⅳ. 次の事例を読んで、【問 1】～【問 5】に対する適切な答えを 1 つ選び、解答用紙の所定の欄に番号を記入しなさい。

C さん 45 歳の女性、会社員の夫 50 歳と大学生の娘 19 歳と 3 人暮らしである。C さんは入浴時に右乳房にしこりを感じ受診した病院で乳房超音波検査により 3cm の乳がんが見つかった。乳房温存術後、化学療法を行っていたが、その後、骨・肺・肝臓への転移が見つかった。本人と家族が話し合い自宅で緩和ケアを開始することになった。そのため皮下埋め込み式ポートを挿入し退院となった。

【問 1】乳がんについて適切なものはどれか。

- a. 乳房の内側が多い。
- b. 有痛性の腫瘍が特徴である。
- c. 危険因子には、40 歳以上、未産または高齢出産、早発月経・遅発閉経、肥満、家族歴などがある。
- d. 女性の部位別罹患数では、大腸がんに次いで 2 位である。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 2】皮下埋め込み式ポートによる在宅中心静脈栄養法について適切なものはどれか。

- a. 家族が管理できることが適用の必須条件である。
- b. 入浴は禁止する。
- c. 使用済みの針は缶に入れ、市町村の分別ごみに出す。
- d. 輸液の調剤は薬局の薬剤師に依頼できる。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 3】C さんは徐々に痛みが強くなり非オピオイド鎮痛剤に加えフェンタニル貼付剤とレスキュー薬が処方された。家族への指導として適切なものはどれか。

- a. 鎮痛剤は麻薬なので鍵のかかる場所で保管する。
- b. フェンタニル貼付剤は麻薬なので看護師が訪問時に貼り替える。
- c. 副作用が出現したら使用を止め様子をみる。
- d. 食事や入浴等の動作で疼痛が生じるときは事前にレスキュー薬を使用してもよい。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 4】 C さんは下肢に浮腫が出現し倦怠感の訴えが出るようになり ADL が低下してきた。ある日の訪問時、娘が C さんと「こんなにむくんでしまって足がかawaii そうだね」と話しながら C さんの足を擦っていた。リンパ浮腫の C さんへの看護として適切なものはどれか。

- a. 下肢のスキンケアを実施する時、娘と一緒に実施しないかと提案する。
- b. 下肢の血行促進のため、下肢を熱い蒸しタオルでくるんで保温をする。
- c. 浮腫の改善は見込めないため、むやみに触って傷をつけないよう娘に指導する。
- d. 衣類のよれが皮膚損傷を招くのでズボン着用しない方がよいことを指導する。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 5】 自宅で看取ることに迷いが生じていた夫も、自宅で看取ることを決意した。夫と娘への支援として適切なものはどれか。

- a. 自宅で看取る意思が揺らぐことがないように支援する。
- b. 静かな環境を保てるよう見舞客は制限するよう助言する。
- c. 臨死期に起こる身体徴候について説明する。
- d. がんで家族を亡くした遺族の会についての情報提供をする。

1. a 2. b 3. c 4. d

問題Ⅴ. 次の事例を読んで、【問 1】～【問 5】に対する適切な答えを 1 つ選び、解答用紙の所定の欄に番号を記入しなさい。

D さんは 13 歳（中学 1 年生）男児で両親と妹 10 歳と 4 人で暮らしている。Duchenne（デュシェンヌ）型筋ジストロフィーであり、誤嚥性肺炎を繰り返すため経鼻経管栄養法と在宅酸素療法を行っていた。3 か月前に誤嚥性肺炎により緊急入院し、胃瘻を造設した。さらに非侵襲的陽圧換気による呼吸管理を行い、退院することになった。退院後は訪問看護を利用する。

【問 1】退院前カンファレンスで説明する訪問看護の内容として適切な組み合わせはどれか。

- a. 「週に 4 回以上訪問することができます」
- b. 「交通費は自費となります」
- c. 「試験外泊中の訪問は実費となります」
- d. 「介護支援専門員のケアプランに基づいたケア内容を提供します」

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 2】呼吸管理の説明で適切なのはどれか。

- a. 鼻根の皮膚トラブル時はマスクを外す。
- b. 人工呼吸器が故障した時は訪問看護ステーションへ連絡する。
- c. 息苦しい時は呼吸器の設定を変更する。
- d. 機器が過剰送気をしたときは回路を点検する。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 3】胃瘻の管理について適切なのはどれか。

- a. 栄養剤の注入時は仰臥位にする。
- b. 胃瘻を造設したので経口摂取は禁止する。
- c. 胃瘻カテーテルは 1 週間に 1 回交換が必要である。
- d. 入浴時に瘻孔部を創傷被覆材で保護する必要はない。

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 4】呼吸器や胃瘻の管理にも慣れてきたころ、妹の小学校でインフルエンザによる学級閉鎖が起こった。Dさんの母親から、妹はインフルエンザの予防接種を受けているものの、Dさんがインフルエンザにかからないか心配だ、と相談があった。

母親への助言として適切なのはどれか。

- a. 「ご家族みんなで、手洗いうがいを実施し感染の予防をしましょう」
- b. 「Dさんの居室に妹を入室させないようにすれば大丈夫ですよ」
- c. 「Dさんをレスパイト入院させましょう」
- d. 「妹の予防内服について検討しましょう」

1. a 2. b 3. c 4. d

【問 5】Dさん家族が、父親のきょうだいの結婚式に招待された。父親からDさんも一緒に参加させたい、と希望があった。外出時に注意することとして適切な助言内容はどれか。

- a. 「外出時の持ち物を一緒に確認していきましょう」
- b. 「Dさんと一緒に会場の下見をしておいてください」
- c. 「移動は自家用車ではなく介護タクシーにしましょう」
- d. 「看護師の同行が必要です」

1. a 2. b 3. c 4. d